

私のおすすめ

Book

『誤診しやすい皮膚疾患』 西山茂夫

浅井俊弥

浅井皮膚科クリニック（横浜市保土ヶ谷区）

皮膚病変の記録を残すことは皮膚疾患の経過を診るうえでもっとも重要なポイントである。皮膚科医は、病変の部位、広がり把握し、個疹を観察してそれをカルテに記載することが診療の大きな部分を占める。最近では電子カルテが普及し、臨床写真を手軽にカルテに貼ることもできるようになった。しかし、個疹の記載はやはり重要である。

臨床皮膚科学の大家である西山茂夫先生は、1968年に『誤診し易い皮膚疾患』というコンパクトな教本を著された。西山先生のもと、北里大学皮膚科で研鑽を積んだ、われわれより上の年代の皮膚科医は、この教本に記された「紅斑」「丘疹」といった皮膚病変を表すことばの定義を大切にしてきた。この教書は、写真や文献がない。しかし、読むことによって、あたかも目の前にその病変があるかのようなイメージがわく、記載皮膚科学のお手本のような教書であった。しかし、今世紀前に絶版となり、若い皮膚科医の目に触れることがなくなった。

小生がeditorのひとりとして関わっている「皮膚病診療」には、読者の「声」を掲載しているが、宮崎医科大学（現・宮崎大学医学部）の皮膚科前教授である井上勝平先生から、この教書を再読したい、改訂版を上梓してほしいという要望をいただいたことがある。小生も以前から若い皮膚科医のために、復刻版を出版できないかと考えていた。この度、金原出版株式会社から同意を得、皮膚病診療の2013年の別冊として、この教書の復刻版である『誤診しやすい皮膚疾患』が出版された。これには、西山先生ご自身に、文章にあった適切な臨床写真を数多く選んでいただき、掲載することができた。多大なご尽力に深謝したい。

皮膚科を学ぶ多くの若い先生方、知識を整理したい中堅の先生方、そして、いつまでも基本を失いたくない、われわれより上の世代の先生方、それぞれに大きなインパクトを与える教書となった。是非、ご購入いただき、記載皮膚科学の楽しさを味わっていただきたいと思う。



『誤診し易い皮膚疾患』（1968）
金原出版株式会社



『誤診しやすい皮膚疾患』（2013）
協和企画

Shop

“The Tower Restaurant Yokohama”

河原由恵

けいゆう病院（横浜市西区）

新生・横浜マリントワーの4階に位置するレストランです。

マリントワーをご存じない方は少ないと思いますが、念のため紹介しますと、1959年の横浜開港100周年記念事業の流れで山下公園前に建設が計画され、1961年1月に開業、2009年5月にリニューアルオープンしました。もともとはれっきとした灯台ですが、現在はその機能は終了しています。29、30階部分が展望台で、昨今のタワー事情からは高さ的に物足りない面もありますが横浜港をはじめとする眺望はなかなかのものです。夜はきれいにライトアップされています。

リニューアル前「世界鳥類園バードピア」や北原照久氏の「機械仕掛けのおもちゃ館」などがあった低層階部分に今では3つの飲食店があります。その一つがご紹介する“The Tower Restaurant Yokohama”です。料理はトラディショナル・コンチネンタル・キュージーヌ（舌を噛みそう……）で、大人向けの空間です。女性が喜びそうな雰囲気のお店ではありますが、私が初めて利用することになった職場の会合では、ローストビーフをはじめとするお料理は男性の先生方にも好評でした。横浜港を一望できるテラス席があり夏は心地よい風を浴びながらの食事もよいでしょう。窓はありませんが12名まで利用できる個室もあります。

地元に住んでいるがゆえに行く機会が少ないかもしれない観光地ですが、レストランでの食事もしみにおでかけになられてはいかがでしょうか。

